

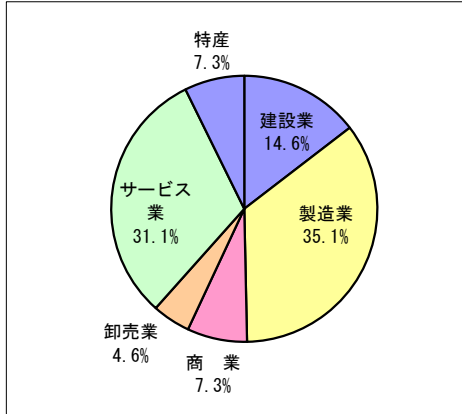
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2020年第2四半期）集計結果

2020年7月30日

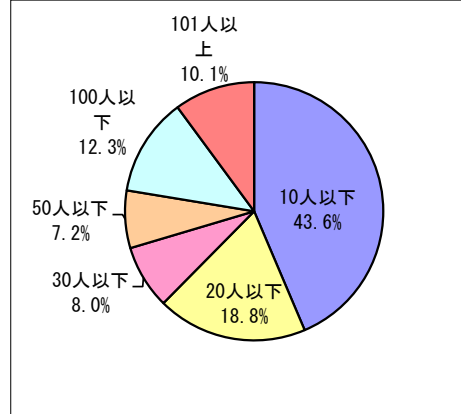
アンケート回答企業数 151社 （アンケート送付数 215社）
回収率 70.2%

調査対象期間 2020年4月～6月
比較対象期間 前年同期 2019年4月～6月
前 期 2020年1月～3月
来 期 2020年7月～9月

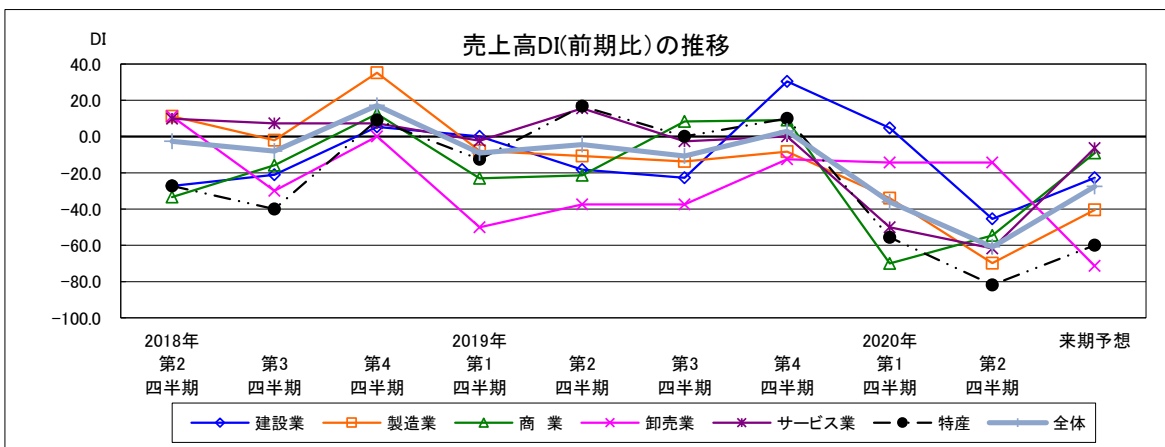
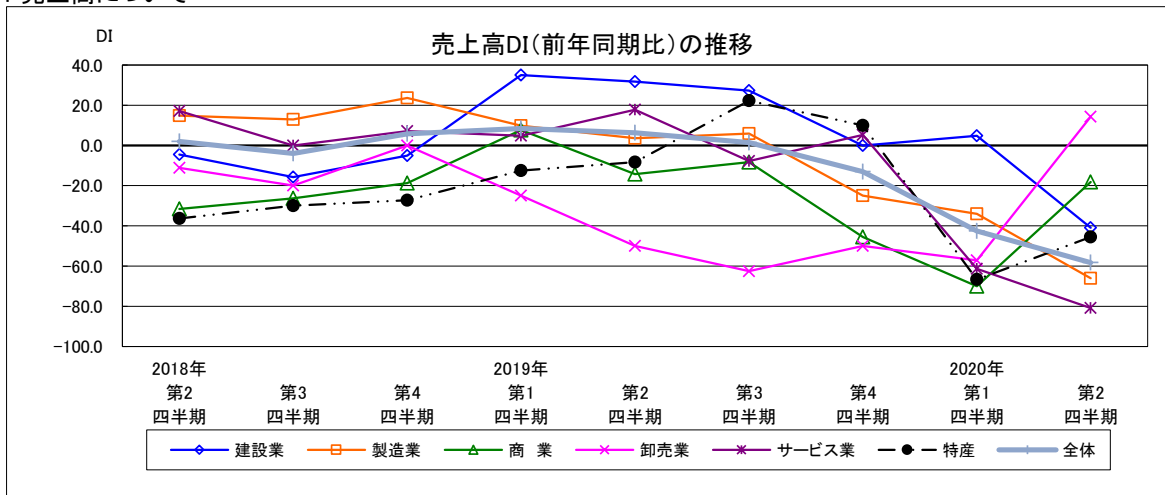
回答企業の業種別内訳



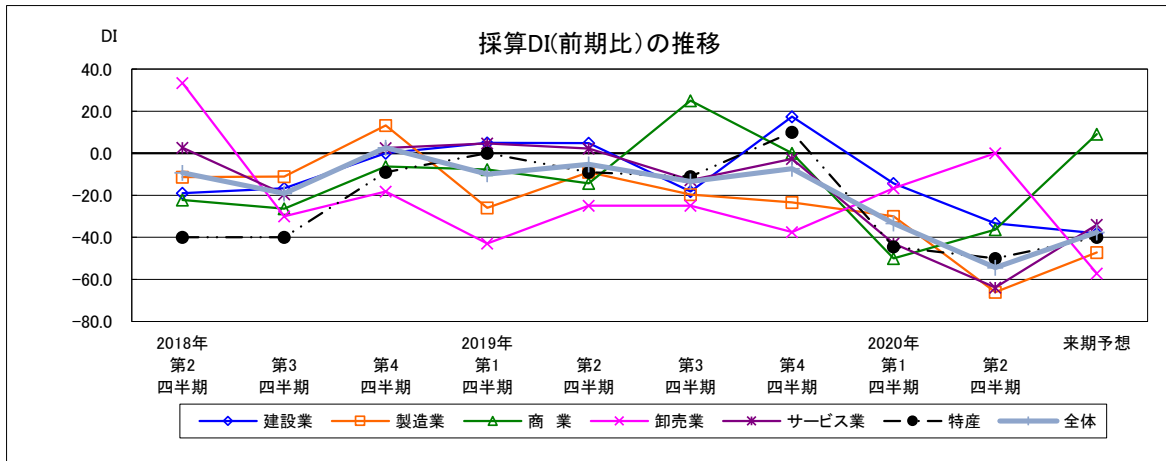
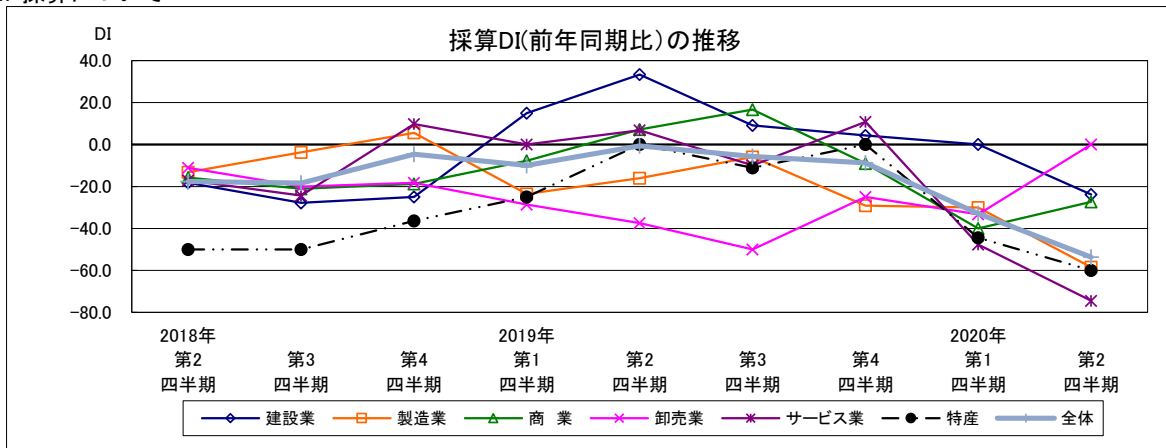
回答企業の従業員数別内訳



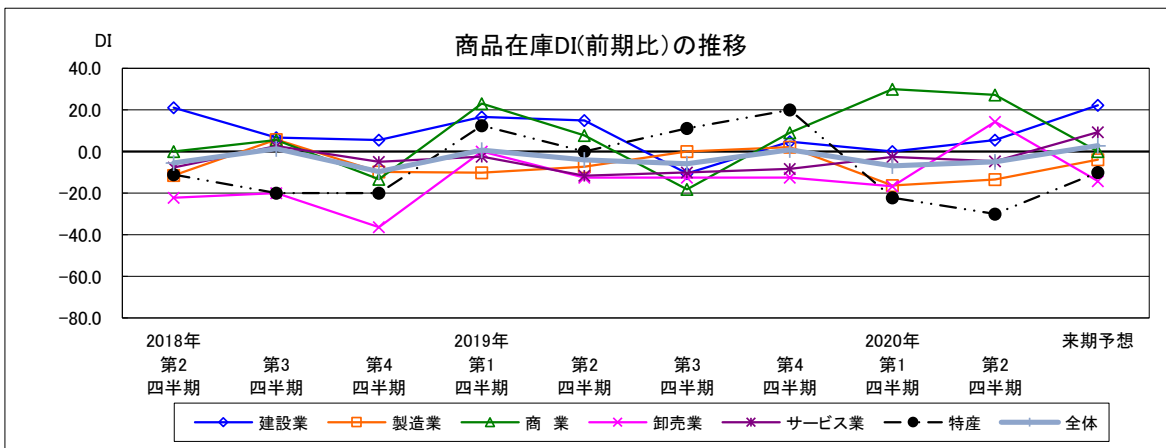
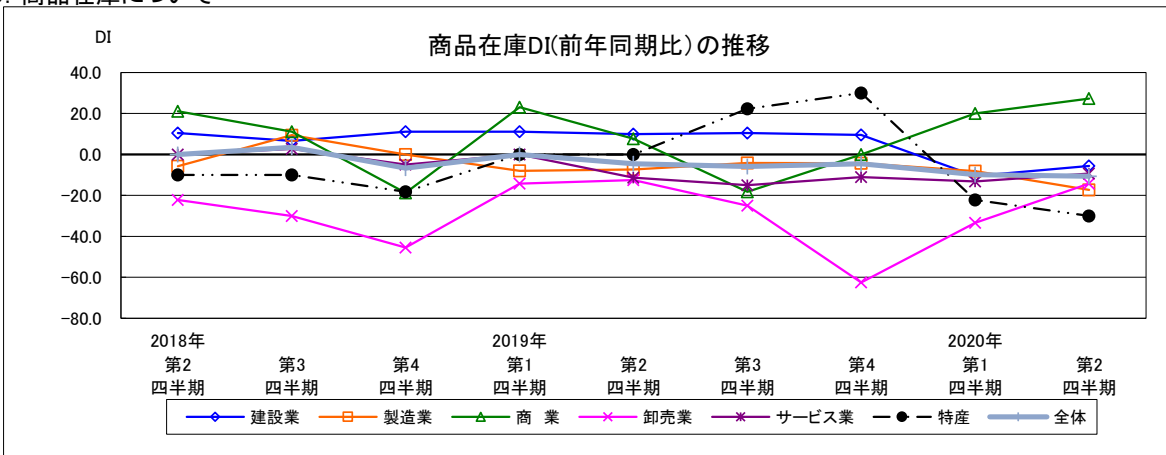
1. 売上高について



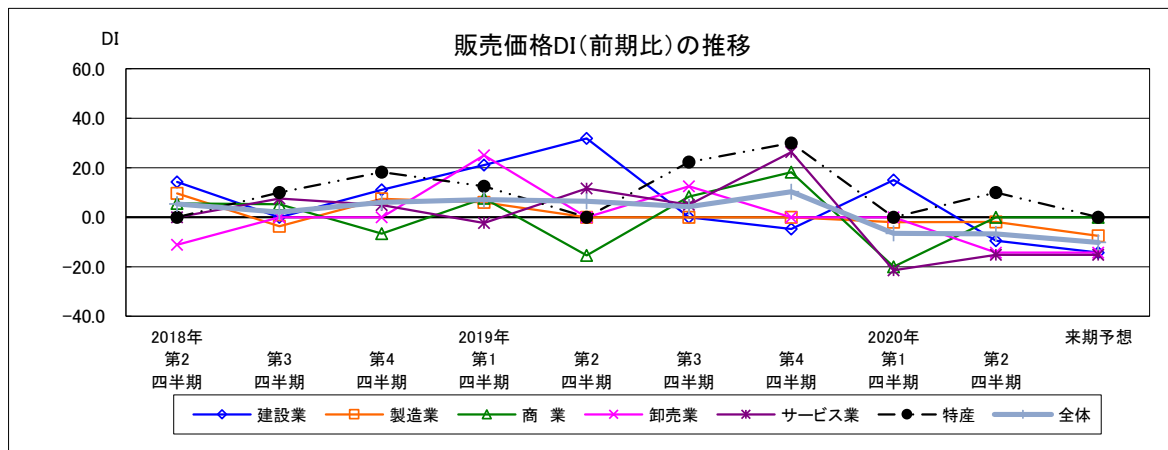
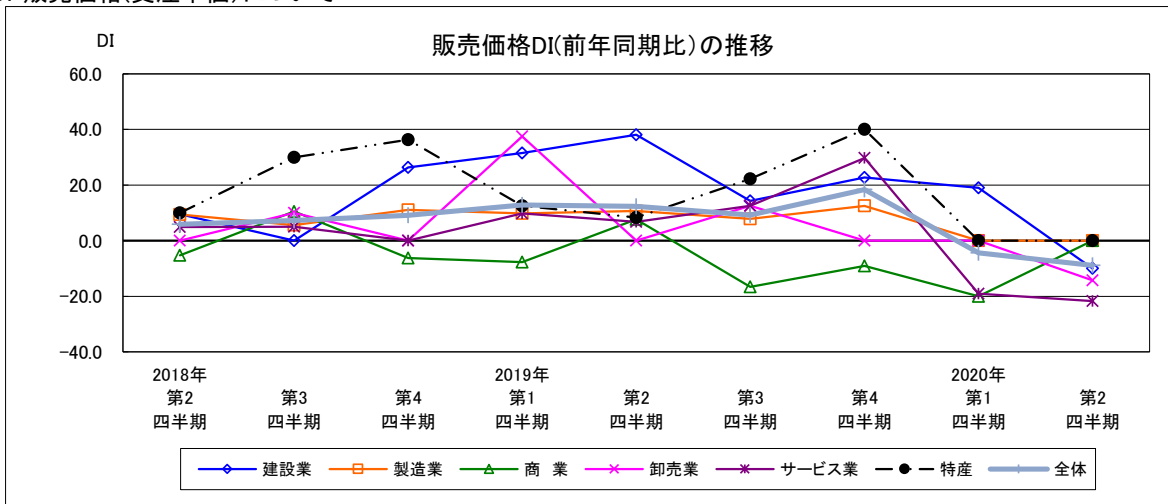
2. 採算について



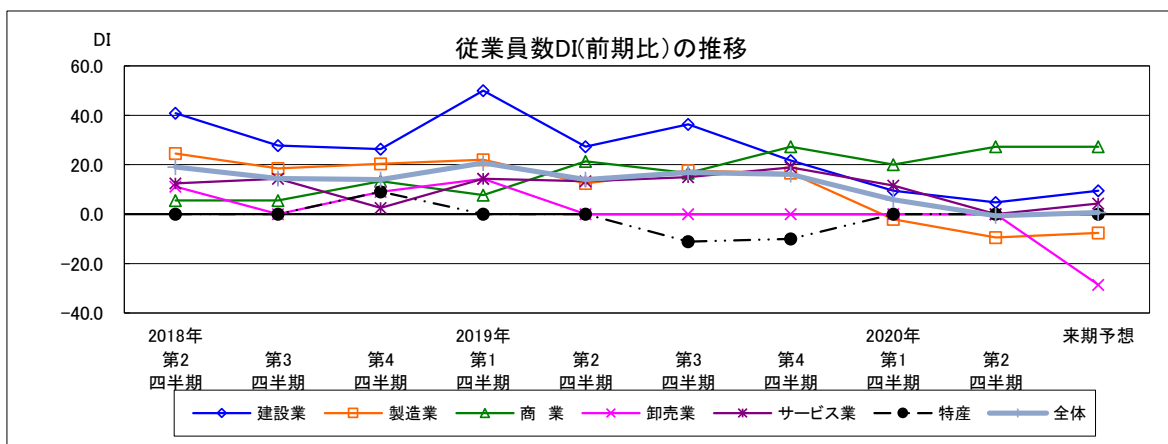
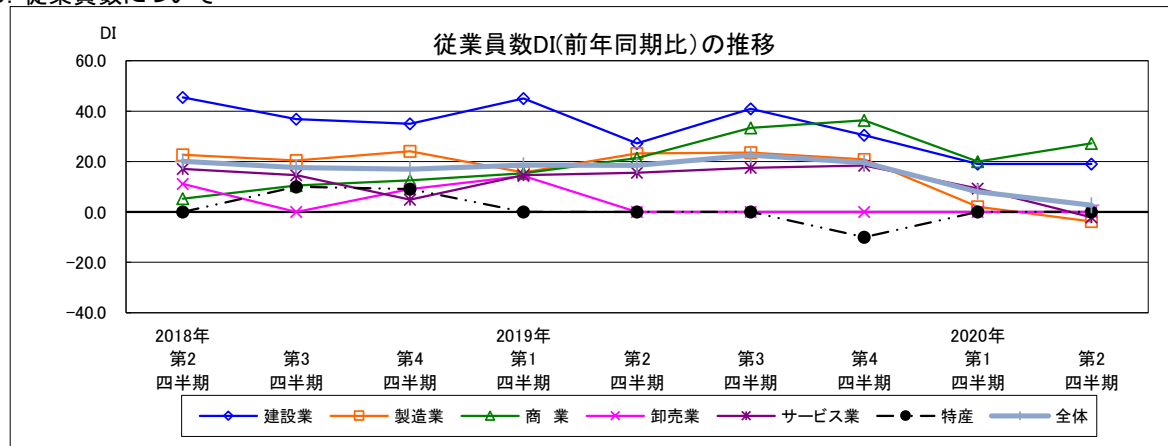
3. 商品在庫について



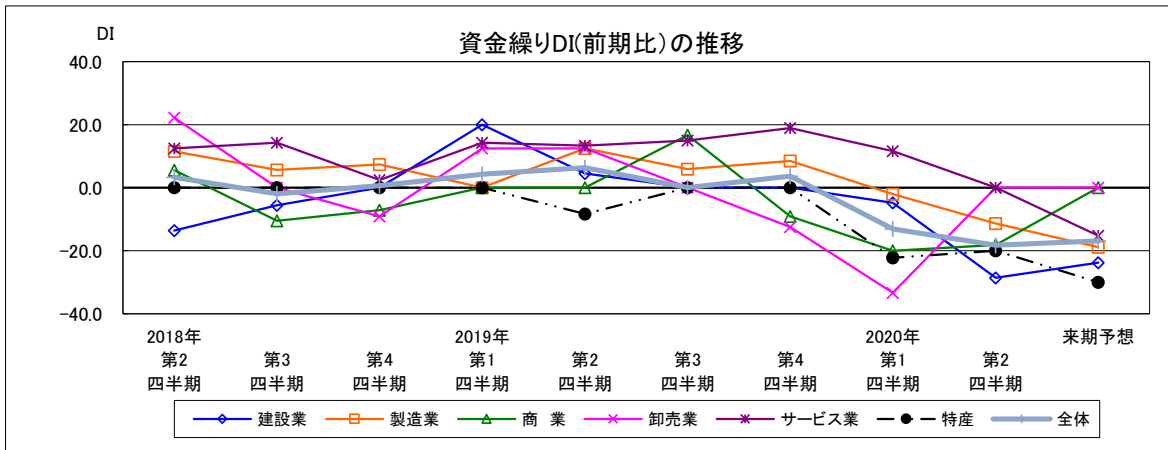
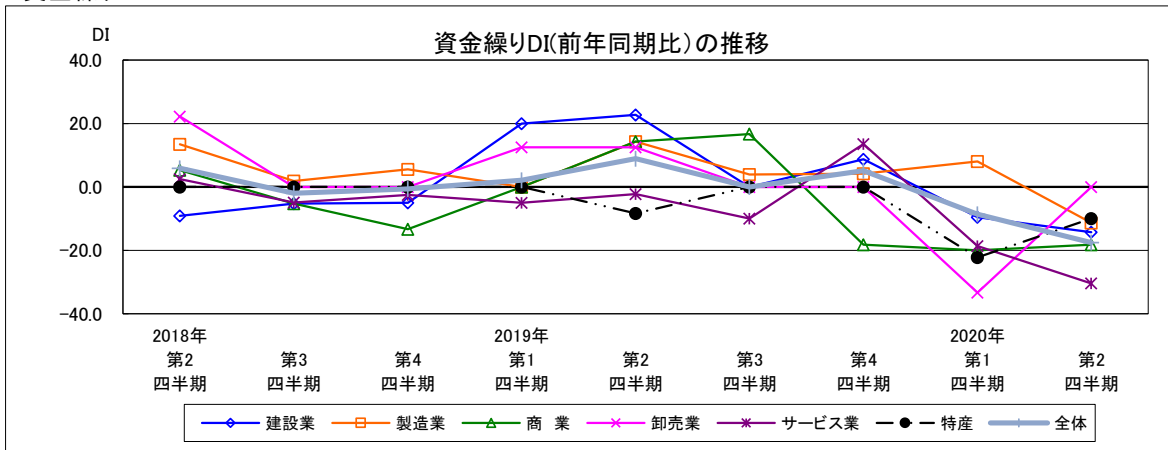
4. 販売価格(受注単価)について



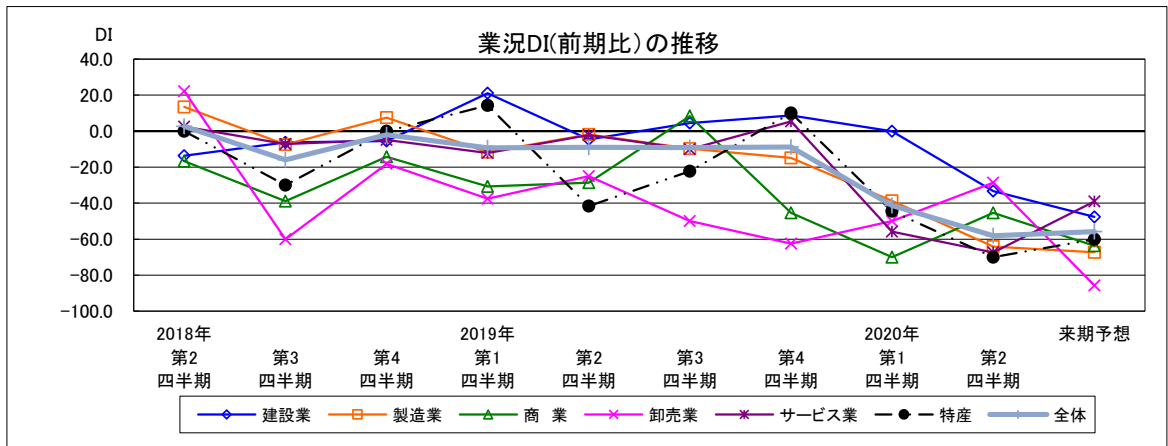
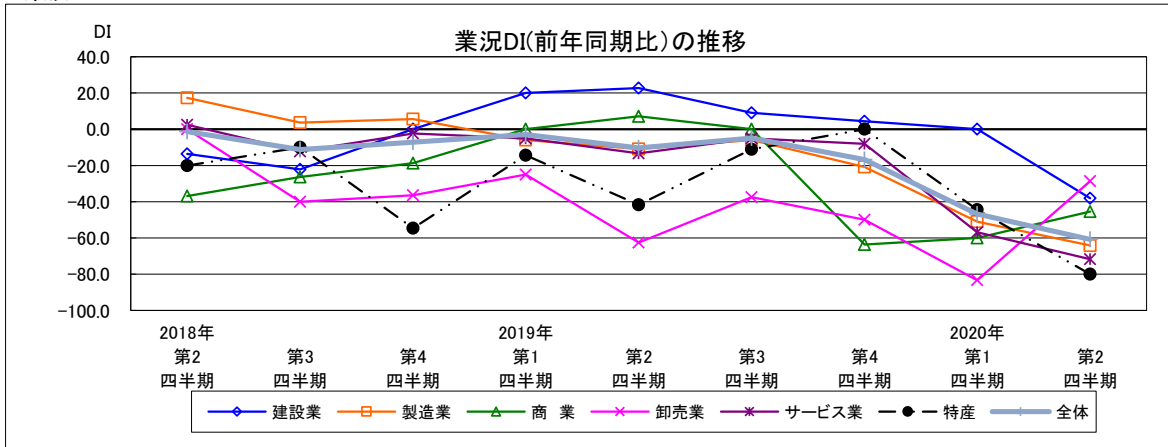
5. 従業員数について



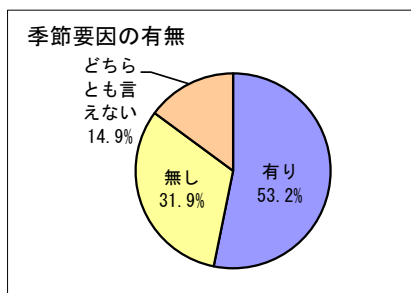
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・重機オペレーターが不足している。
- ・新型コロナウイルス対策等で発注機関の動きが鈍く、公共工事への予算縮小など不安要素あり。
- ・建築現場商材の減少傾向。
- ・コロナの影響で採用活動が全般的に鈍化し、また、時期も後ろ倒しになったことにより、採用環境が厳しくなっている。
- ・景気悪化を予想した元請がダンピングに向かっており、下請化率への値引交渉が多くなってきた。仕事の囲い込みを狙って、安価な金額で相談も無く受注してくる会社が出てきた。
- ・コロナウイルスの為、打ち合わせや客先との話し合いが制限され、従業員にストレスが溜まり雰囲気が悪い。

○製造業

- ・新型コロナウイルスで減少した客先の稼働状況の回復。
- ・新型コロナウイルスによる影響大。
- ・コロナにより輸入部品等が遅れ、4～6月に集中した。
- ・新型コロナウイルスの影響で受注量は確保しているものの、納期が延びたりするので売上が対前年比、数%の落ち込みと見込んでいます。
- ・新型コロナウイルスに振り回されることなく、この不況も一つのチャンスと考えています。技術を磨き、景気の波にのまれない様に次のステップに繋げていきたいです。
- ・コロナによる景気動向の悪化がまだ先行きが読めない。見通しがたたず。
- ・5月以降新型コロナウイルスの影響が出てきた。先行きが不透明である。
- ・受注などは不変であり、量が少なく金額的には少額である。午前中は客数があるが、午後になると客足はとまる。コロナの影響なのか全体的に客足が伸びないと聞く。必要な商品以外は買わない。
- ・取引先の各企業がコロナ慣れしてきた感じはあるが、海外の感染拡大による影響からの回復の目途が立たない状況にあります。
- ・コロナ禍で当たり前だった日常の様式を見直す良い機会かもしれない。
- ・1ヶ月、2ヶ月先の予想が困難な状況。主な客先様の売り上げは下がっているものの、利益はあるようなのですが在庫の調整をされるので弊社に影響がかなり出ている。

○商業

- ・新型コロナウイルスの影響大。
- ・緊急事態宣言は解除されましたが、イベント・旅行等の行事が当面の間中止になっている為売上は伸びません。第二波・第三波が来たら、今の状況ももっと悪くなるかもです。
- ・新型コロナウイルスで外食産業の低迷の影響でお酒が減少。山田錦も減少。ウルチ米の価格も下がる予想。兼業農家中心で新型コロナウイルスの影響があるかもしれません。反対に外出自粛でホビー農家へ期待。

○卸売

- ・当社の得意先は全体的に受注減・来客数減の傾向である。7～9月の見通しも予測できない状況である。

○サービス

- ・新型コロナウイルスによる除菌・清潔などの意識が向上した。給付金支給によりエアコンクリーニングが例年以上に受注できたが、ボーナス・給与の低下による所得減少で先行きは不透明です。
- ・GoToキャンペーンに期待しています。
- ・定期的にテイクアウト広告を会議所主催で配布してほしいです。
- ・得意先の生産量が減少している為、定期便が無くなって欠車している。再運行の見込みがない。運転者の解雇をせず、補償し助成金をもらっているが先行きが見えない。
- ・日によって客数の差が大きく、今後のコロナの動向によりわからない。
- ・コロナの影響により売り上げが減少し、客数も減少しました。5月20日より営業開始し、6月末頃には少し客数も増えはじめています。
- ・コロナによって4月のイベント・プライダル関係の案件がなくなり、およそ40万円減となるもホームページや計画など、待ちの状態による制作物の受注である程度まで回復。

○特産

- ・3～5月は注文がなく少し心配していたが、6月の半ばから注文が入ってきているので安心した。
- ・新型コロナウイルスの影響による先行きの不透明感。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響の不況で4月から注文が減少し、キャンセルもありました。5～6月は残注でしのいできましたが、この先の見通しがたちません。

- 他業種に比べ、ホームセンター等の業績が良く、多く注文を頂いていますので例年通りの売り上げとなっています。